

令和4年7月22日		
所 属	尼崎市立尼崎双星高等学校	高校教育課
担当者	櫻木 嘉典	中道 隆広
電 話	06-6491-7000	06-4950-4710

夏休みに宇宙技術を体験 「尼崎ロケットキャンプ」を実施します

尼崎市立尼崎双星高等学校と尼崎市は、8月8日・9日に本校などで、ロケットに関する基礎知識を学び、オリジナルモデルロケットの製作や打ち上げ実験を行う小・中学生向けイベント「尼崎ロケットキャンプ」を実施します。

本校では、主に課外活動（宇宙科学研究会の活動）の一環で、電気情報科やものづくり機械科、普通科などの生徒が缶サット（小型の模擬人工衛星）の製作・研究を行っており、そのノウハウを活用する取り組みとして本イベントを企画しました。

本イベントを通じ、本校が持つ缶サット製作のノウハウや情熱を学校内だけにとどめず、地域や小・中学校へ広げていくとともに、地域に開かれた学校づくりを目指します。



ロケット打ち上げのイメージ

1 イベント概要

(1) 日程

令和4年8月8日（月）・9日（火）の2日間（9日が雨天のときは10日（水））
いずれも午前9時～午後4時

(2) 対象・定員

小学5・6年生及び中学生（市立小・中学校に在籍する児童・生徒）、20人

(3) 場所

1日目 尼崎市立尼崎双星高等学校（尼崎市口田中2丁目8-1）
2日目 能勢ロケット実験場（大阪府豊能郡能勢町天王）

(4) 実施内容

1日目 ロケットに関する講義（基礎知識など）及びモデルロケットの製作
2日目 製作したモデルロケットの打ち上げ実験を兼ねた打ち上げ大会

2 缶サット製作・研究に取り組む意義

缶サットの製作・研究に取り組むことは、文部科学省が推進するSTEAM教育や課題解決型学習の実践につながり、教科横断的に課題を発見・解決し、社会的価値を創造する能力を育むことができます。また、缶サットの製作・研究に取り組む上で、仲間と一緒に製作目標（ミッション）を設定し、製作し、実験し、振り返り、見直し、また実験することでPDCAサイクルによる改善手法を習得するとともに、マネジメント力やチームワークも身に付けられます。

3 他校と連携した取り組み

今年度から学校間連携として、本校と兵庫県立尼崎工業高等学校、神戸村野工業高等学校の3校合同で缶サットを用いた工業版STEAM教育を実施しています。7月27日（水）には、能勢ロケット実験場にて今年度2回目となる打ち上げ実験を予定しています。今回の打ち上げ実験では、本校と神戸村野工業高等学校が参加します。

以 上